

教育目標具現化の全体構想

学校の教育目標

自ら学び、豊かな心と強い体をもって、たくましく生きる子供の育成

目指す子供像

共に学び合う子供

- 粘り強く学習に取り組む子
- 相手の考えをよく聞き、自分の考えを
進んで表現する子
- 学習規律を守り、互いに
認め合いながら
学んでいく子



仲よく思いやりのある子供

- 相手を思いやり、進んで協力する子
- 互いのよさを認め、励まし合う子
- 周囲に感謝し、ふるさとを大切に思う子
- 約束を守る子



進んで運動する子供

- 目当てをもって楽しく運動する子
- 心や体の健康について自ら考え、
規則正しい生活ができる子
- いのちの大切さを考え
行動できる子



本年度の重点目標

互いに認め合い、目標に向かって共に伸びようとする子供の育成
— いのち かがやく 大門小 —

学校運営の方針

- 1 生命と人権を守り、安全・安心な学校づくりに努める。
 - ・あらゆる教育活動を通して、他者のいのちの尊さを実感できる「いのちの教育」を推進
 - ・人権意識を高め、「いじめは絶対にしない・許さない」を徹底
 - ・言語環境の整備、防災や危機管理に基づいた指導、新しい生活様式に則った体制等を整え、安心して学べる学校づくり
- 2 「確かな授業」の実現に努め、確かな学力を育む。
 - ・課題に基づいた学力向上策を立案し、全教員が共有して授業改善を推進
 - ・学習規律の確立と温かな人間関係基盤に、学び合いを重視した授業の充実
 - ・「授業力向上射水トライアル3点セット」を活用し、分かる・できるが実感できる「確かな授業」の実現
 - ・ICT機器を活用した授業実践に進んで取り組み、主体的な学びを追究
- 3 豊かな心を育む指導や活動を推進する。
 - ・「ふるさと学習」を推進し、郷土への誇りと愛情を醸成
 - ・全教育活動を通じ、一人一人のよりよく生きようとする力を伸ばし、道徳性を涵養
 - ・縦割り班活動や異年齢交流等を通して、よりよい人間関係を育成
- 4 「元気っ子育成計画」に基づく体力の向上と望ましい生活習慣の形成を図る。
 - ・自らの健康に関心を持ち、病気から身を守る実践力の育成
 - ・運動する楽しさや喜びを味わえる多様な運動の機会の確保
 - ・家庭との連携により、望ましい生活習慣の形成と実践力を育成
- 5 家庭・地域との連携を推進し、信頼される学校に努める。
 - ・各種たより・ホームページ等を通じた、学校からの積極的な情報発信
 - ・保育園・中学校、及び地域・各諸団体との連携

アクションプラン

学習用具をそろえ、正しい姿勢で授業にのぞむ

学期ごとに自己評価と他者評価によって客観的に自分の実態を振り返る

《自己設定の達成 90%》

- 学習用具を揃えてあるモデルを提示し、各クラスで徹底を図る。
- 体幹運動の時間を設定し、全校で取り組む。
- 自分の取組や変容を視覚的に確認できるようにする。

進んで挨拶や返事ができる

定期的に自己評価する

《学校全体で達成度90%》

- 日頃の授業や生活の中で、返事をするこの大切さを理解し、徹底する。
- 委員会活動やあいさつ運動等を効果的に生かし、よりよい挨拶を目指すようにする。
- 定期的に評価を継続し、改善していることを自覚化できるようにする。

多様な運動に取り組む

取り組んだ運動を記録し、累積結果に基づいて自己評価する

《自己設定の達成 90%》

- 「体力アップカード」を通して、遊びや運動の習慣化に努める。
- 運動の特性に応じた魅力ある環境や場を提供する。
- 体育の授業と運動し、運動する楽しさを味わわせる。